

ヒルフェ通信(4月号)

❖ そっと寄り添いやさしくサポート ❖

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は東京都行政書士会が社会貢献の一環として設立した法人です。



◆第12期の全課程が修了いたしました

ヒルフェ第12期の全課程が2月の面接をもって修了となり、今年度も新たな名簿登載候補者が誕生いたしました。昨年6月から始まった研修センターの30時間の基礎研修、その後団体の30時間の基礎研修を終え、効果測定、2月の面接で全課程修了となりました。

平成29年度は、地区連絡協議会におきまして、地域ネットワーク会議(名称はそれぞれ違いあり)に参加しているという報告が確実に増えていました。「成年後見制度利用促進計画」のポイントの一つである「地域連携ネットワークづくり」を担う一員として、各地域でも認知されてきたものと思います。地域密着型の専門職後見人として、地区活動でも、新メンバーの参加は大きな力となっていただけのもものと確信しております。



◆練馬地区無料市民セミナー アンケート集計報告

2月19日に開催された、練馬地区無料市民セミナーにおいて参加者にアンケート調査を実施しましたので、集計結果の報告をいたします。【有効回答数】63件(来場者数78名)

一般参加者の年齢層は20代から70代まで幅広く、その半数以上が60代以上の方でした。練馬地区以外からの参加者も4割以上を占めており、セミナーを知ったきっかけもチラシや区報だけでなく、知人の紹介、施設や親の会等を通じて知ったという意見が多いのが特徴的でした。

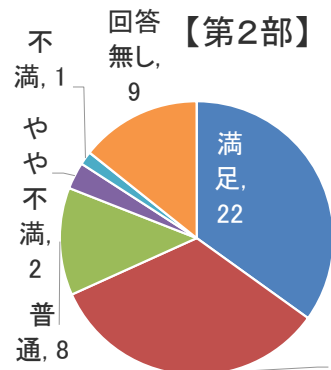
【第1部 「権利擁護センターほっとサポートねりま」の地域福祉権利擁護事業とは】

説明が分かりやすかった、良い事業内容だと思う、成年後見を使う程ではないが、金銭管理等の手続きが不安な方への情報提供として役だった等、6割以上満足との結果となりました。

【第2部 成年後見制度を利用するにあたって注意すべきこと】

事例を交えての説明が分かりやすかった、成年後見のメリット、デメリットについて話してくれたのが良かった(特にデメリットについては他で聞けない内容であると反響あり)、事前準備の大切さを知った等、関心の高いテーマであることが分かる結果となりました。

アンケート結果を通して、高齢者に比べ、障害者への成年後見制度の情報提供の場が少ないということを実感し、引き続きこのような機会の提供の必要性を感じました。



◆東京マラソンEXPOにおいて東京都行政書士会の出展ブースの広報活動を行いました

2月22日(木)から24日(土)の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催された東京マラソンEXPO2018に、東京都行政書士会のブースが出展され、ヒルフェからも参加をいたしました。東京都行政書士会およびヒルフェのリーフレット、特製クリアファイル等の配布活動を行いました。当日のブースでは、ユキマサさんと一緒に「そうだ行政書士に相談しよう」と連呼するライブパフォーマンスが展開され、会場を盛り上げました。週末は来場者も増え、ブースイベントも行列が出来、大変賑わいました。今後も行政書士の社会貢献事業の認知度を上げると共に、ヒルフェの周知活動を行って参ります。

